

一般財団法人 日本科学技術連盟

QUALITY

JUSE

日科技連とは

ABOUT US

私たちは、一般財団法人 日本科学技術連盟（略称；日科技連，JUSE）という団体です。

かつて日本製品は「安かろう悪かろう」の代名詞とされてきました。その状況に危機感を覚え、日本の発展のための競争力を得るためには、ものづくりにおける品質意識の向上と、そのための知識・技術の普及が必要であると考えた先人は、日科技連を創設し、科学的な経営管理技術の研究開発、教育訓練等の活動を通して品質管理の発展・普及をはかり、企業の品質力向上を支援することで産業界を支えてきました。

しかし、戦後70年を経た昨今では、そのような「性能や精度といったモノの品質」に加えて、さらなる付加価値ともいえる「コトの品質（モノやサービスの利用によってお客様が得られる経験価値の質）」へと競争のポイントが変化してきています。日科技連は、これまでの取り組みを基盤に、より魅力的な製品・サービスを提供するために、そういった変化に対応するクオリティの研究・支援を進めています。

沿革



HISTORY

日本科学技術連盟は、大正時代に設立された3つの技術団体にその源流を発しており、それらの団体は、1944年に大日本技術会に統合後、1946年に日本科学技術連盟として生まれ変わりました。以来、日科技連は日本産業界の品質を支える活動に取り組んでいます。

終戦	日科技連 設立	品質管理セミナー ベーシックコース開講	デミング賞創設	財団法人 認可取得	品質管理シンポジウム (QCS) 開催	TQCをTQMへ 呼称変更	一般財団法人へ移行
1945	1946	1949	1951	1962	1965	1996	2012

日科技連の取り組み

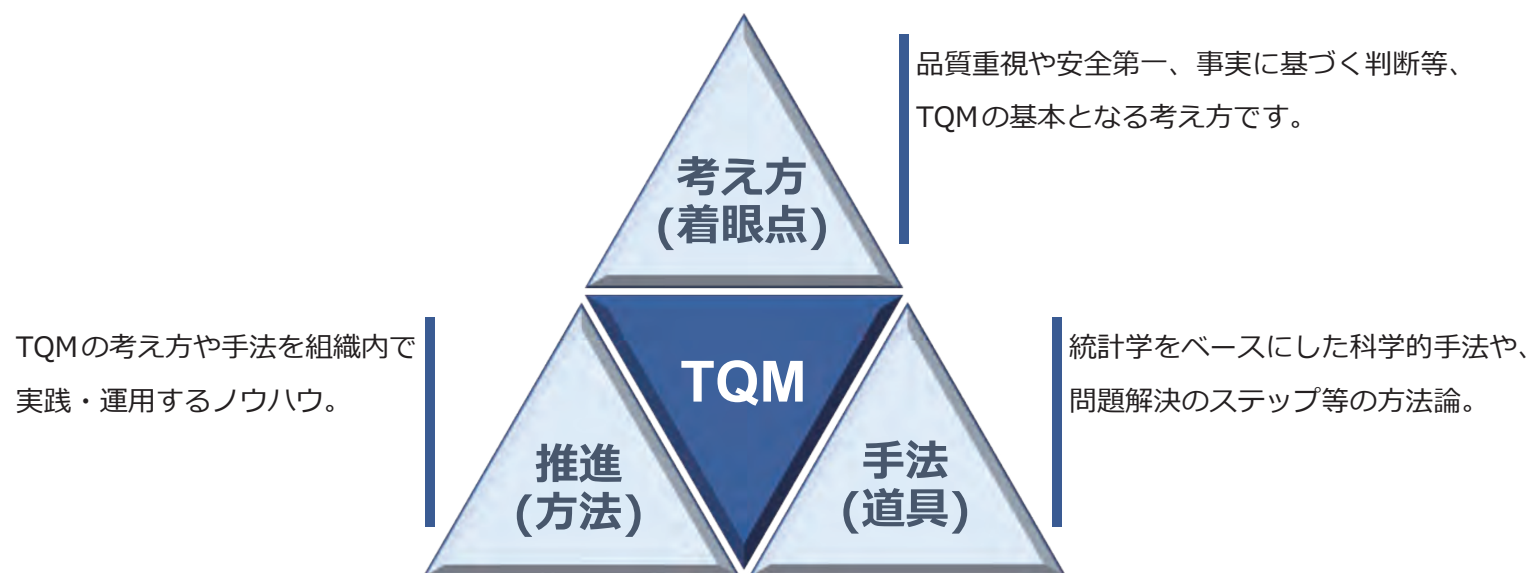
TQM の普及



TQM

日科技連では、より多くの企業・組織にTQMを知っていただき、活用いただくことで、日本産業界に寄与できるように、TQMの考え方や手法の教育はもちろん、それらを企業内に導入・実践・運用する際のノウハウ等も併せてご提供しています。

TQMには、品質経営に役立つさまざまな「考え方（着眼点）」「推進（方法）」「手法（道具）」があります。これらを業務に取り入れ、具体的な手段・方法として活用することで、品質経営をより効果的・効率的に進めることができます。



日科技連の取り組み



QC サークル活動（小集団改善活動）の支援

QC CIRCLE

QCサークル（小集団改善活動）とは、第一線の職場で働く人々が継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小グループです（QCサークル本部編『QCサークルの基本』より）。

戦後復興期の後、海外製品との競争の中で品質管理の重要性が理解されると、現場第一線での主体的な品質管理活動を支援する書籍などが発行され、現場の自主的な勉強会「QCサークル」の発足につながっていきました。こういった取り組みこそが、日本品質＝ジャパנקオリティを支えてきたと言っても過言ではありません。日科技連では、全国組織の運営や大会運営などを通してQCサークル活動の草創期から、その普及・発展を支援し続けています。

また、職場第一線で働く方々や小集団改善活動のリーダー、推進者の方々向けに改善活動のツールや運営方法・工夫をやさしく学べる雑誌として、QCサークル誌を発行しています。



Webサイト



1962 年創刊「現場と QC」誌

日科技連の取り組み

交流と連携



INTERACTION AND COLLABORATION

日科技連は、研究会やシンポジウム等を通じて、産業界の実務家・技術者と学界の研究者の交流・連携の機会と場を提供しています。これらの交流を通して、学界よりもたらされた新しい研究テーマや技術が産業界の実務の場で試され、新しい方法論や手法の創造・開発・実用化につながっています。これまでの日本産業界を支えてきた技術もこういった場で産声を上げ、磨かれてきました。その成果はシンポジウム・研究会等で発表され、さらにセミナー等で普及を図り、産業界に共有されていきます。そして現在は“これから”を見据えた研究が進められています。

<さまざまなシンポジウムや研究会>

品質管理シンポジウム

クオリティフォーラム

信頼性・保全性・安全性シンポジウム

ソフトウェア品質シンポジウム

信頼性・品質技術研究会

ソフトウェア品質管理研究会

失敗学研究会



技術者・研究者の交流

教育・研修



EDUCATION AND TRAINING

- **集合研修**：知識・スキルの習得に加えて、異業種交流による刺激も受けられます。
- **社内研修**：内容や講師、会場、日時などをご要望に合わせられるオーダーメイド研修です。
- **オンライン研修・eラーニング**：オンラインで、場所を選ばずどこでも学習できます。ライブ配信に加えて、一部講座では録画配信（アーカイブ配信）も行っています。
- **通信教育**：課題の通信添削により無理なく学習を進められます。
- **大会・フォーラム・シンポジウム**：改善活動や研究成果の発表・講評を通して、他社事例や研究の聴講・学習ができます。他社発表者や研究者との交流を通し、改善・研究モチベーションの向上も期待できます。
- **研究会**：自社課題の研究、専門家の指導を通じたエキスパート育成に加えて、異業種交流・専門家との人脈づくりができます。





さまざまな研修カテゴリ

VARIOUS CATEGORIES OF TRAINING

■主な研修カテゴリ

人材育成に役立つさまざまな分野の研修を提供しています。特に近年では、従来の統計的品質管理手法教育に加えて、ビッグデータ時代のデータサイエンスや、機械学習のための統計基礎、技術者のデータリテラシー教育など多彩な教育メニューを提供しています。

カテゴリ	
品質経営（顧客価値創造・TQM）	IE・VE・コストダウン・ムダ取り
経営戦略・イノベーション・商品企画・購買	未然防止・再発防止
統計的品質管理手法・品質工学・データサイエンス・官能評価	ソフトウェア品質
信頼性・保全性・安全性	医薬・医療
QCサークル	ビジネススキル
QCストーリー・QC手法	ISO・マネジメントシステム

※各詳細はセミナーガイドまたは日科技連セミナーサイト (<https://www.juse.or.jp/src/seminar/>) をご参照ください。

社内研修・講演会、講師派遣



ONSITE TRAINING

75年以上にわたり、数多くの研修を手掛けてきた経験や、研修ラインナップ、講師のネットワークをベースに、お客様の組織の問題・課題や目標をお伺いしたうえで最適な研修をご提案いたします。研修以外にも講師・講演者の派遣、品質経営の推進に関わる相談などにも対応しています。

例1：「未然防止の教育を実施したい」

→既存の研修カリキュラム・教材をベースに企画・ご提案

例2：「製品の品質不良で困っているが何をすべきか分からない」

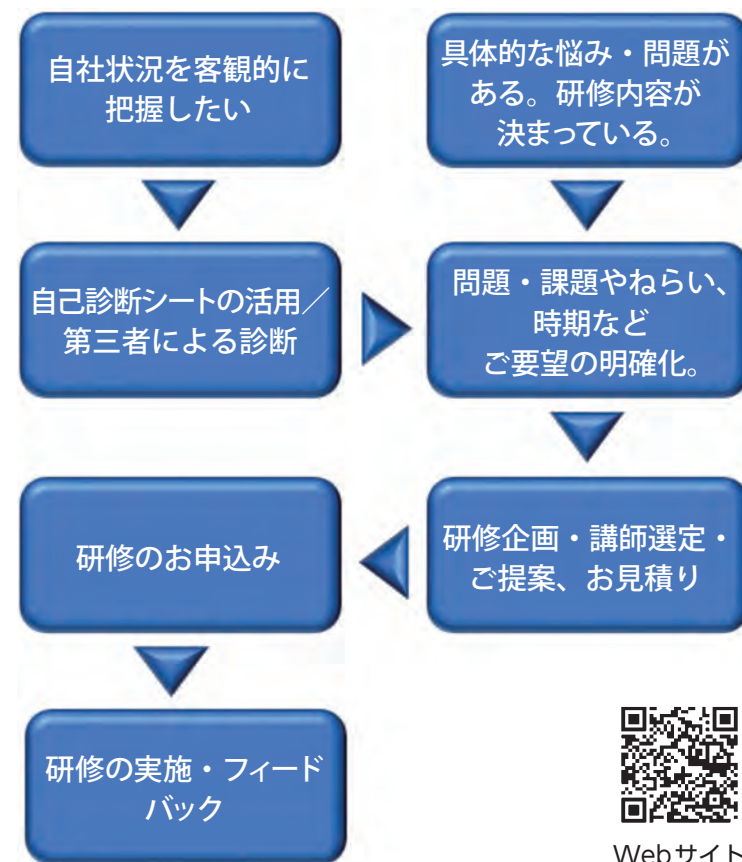
→専門家による品質診断→問題の洗い出し

→日科技連とのご相談→研修ご提案

例3：「Q Cサークルを導入したい」

→導入・推進ノウハウのご相談対応とフォロー

→研修やキックオフ講演会のご提案など



Webサイト

賞・表彰 デミング賞



RESEARCH & AWARD & PRIZE

デミング賞、日本品質奨励賞をはじめ様々な賞・表彰制度を設けています。これらの賞に挑戦することにより、組織体質の強化を図ることができます。

デミング賞は、故William Edwards Deming博士の友情と業績を記念して、1951年に創設したTQMに関する世界の最も権威のある賞です。

日本品質奨励賞は、創立50周年を記念して2000年に創設し、特にわが国のTQM活動の裾野を一段と広げると共にデミング賞挑戦への一里塚として位置づけています。

「企業の品質経営度調査」では、日経新聞社と共同で日本企業における品質経営の実践状況を調査し、上位格付け企業に優秀企業賞として表彰しています。



Webサイト



デミング賞メダル



TQM奨励賞



品質革新賞

日本品質奨励賞

マネジメントシステム認証



MANAGEMENT SYSTEM CERTIFICATION

マネジメントシステムの認証をサポートし、経営基盤の強化発展につなげます。SDGsに関する独自の評価基準を設定し、企業のSDGs活動に対する診断を実施しています。

■認証・診断メニュー

認証メニュー		診断メニュー
品質：ISO 9001 環境：ISO 14001 情報セキュリティ：ISO/IEC 27001 ISMSクラウドセキュリティ：ISO/IEC 27017 パブリッククラウド上で管理する個人情報保護：ISO/IEC 27018 プライバシー情報：ISO/IEC 27701	ITサービス：ISO/IEC 20000 食品安全：FSSC 22000, ISO 22000 HACCP：JUSE-HACCP 労働安全衛生：ISO 45001 道路交通安全：ISO 22301 事業継続：ISO 39001 持続可能な調達：ISO 20400	SDGs 診断



検定・資格



QUALIFICATION

企業・組織で品質の実務を担う方々のための資格制度を設けています。

- **品質管理検定（QC検定）**：品質管理の能力について、品質管理に関する知識を筆記試験で評価し、予め定めた基準により品質管理の知識レベルの認定を与えるものです。
- **マネジメントシステム監査員検定**：マネジメントシステムの有効性を高めるための重要な要素である、監査員の力量向上を目的とした検定制度です。
- **ソフトウェア品質技術者（JCSQE）**：ソフトウェアの品質向上に関する包括的かつ体系的で本質的な知識を身につけ、継続的・効果的に品質向上を図ることを目的としています。
- **QCサークル指導士**：QCサークル活動の普及と発展のために、QCサークル指導士の資格を認定し、評価・登録するものです。
- **信頼性技術者（JCRE）**：信頼性工学の普及と発展のために、信頼性・品質保証業務に携わる技術者の資格を認定し、評価・登録するものです。



国際協力



INTERNATIONAL COOPERATION

日科技連では、世界各国の品質団体と交流を持ち、品質に関する国際会議の開催や、人材育成などの活動において相互協力を行っています。また、TQMや品質技術の更なる発展のため、世界の主要品質団体であるアメリカ品質協会、ヨーロッパ品質機構との連携を強化し、国際品質アカデミーを中心に、今後の国際学会分野での相互協力を進めています。

■交流のある主な品質団体

- ・ ASQ (American Society for Quality) アメリカ品質協会
- ・ EOQ (European Organization for Quality) ヨーロッパ品質機構
- ・ ANQ (Asian Network for Quality) アジア品質ネットワーク
- ・ IAQ (International Academy for Quality) 国際品質アカデミー

■さまざまな活動

- ・ 国際TQMセミナーの開催
- ・ 国際会議の開催
- ・ 海外企業診断の実施
- ・ 海外研修団や調査チームの派遣や受け入れ



賛助会員制度



MEMBERSHIP

日科技連では賛助会員制度を設けています。会員になるとさまざまな特典を受けることができます。

会費：入会金：10,000円（初年度のみ）／年会費：50,000円（一口）

<会員特典> ※会員特典は法人単位で適用されます。子会社・関連会社等は範囲に含まれません。

- 会員価格**：セミナー等事業を会員価格でお得にご利用いただけます。（参考：一般価格より約15%程度の割引を受けられます）
- 年間予約**：年末に翌年度セミナーガイドをいち早くお届けし、翌年度の研修を優先的に予約できます。
- 事例検索**：フォーラム、シンポジウム、大会で蓄積された貴重な講演を閲覧できます。
- 会員限定の講演会・講座**：会員限定の講演会（月例講演会）やオンライン講座（J-select）を無料で利用できます。
- 機関紙「クオリティクラブ」の配信**：会員向けの機関紙をeBookにて定期配信いたします。品質に関する最新情報のほか、専門家による連載記事やインタビュー記事などもお読みいただけます。



お問合せ



CONTACT US

お問い合わせがございましたら、下記までお気軽にご一報ください。

宛先：内容	メールアドレス
TQM・品質管理	tqmsemi@juse.or.jp
QC手法・統計手法	sqcsemi@juse.or.jp
QCサークル（小集団改善活動）	qccsemi@juse.or.jp
応用統計	techsemi@juse.or.jp
QFD・商品企画	jusemsd@juse.or.jp
信頼性・安全性	re-group@juse.or.jp
ソフトウェア品質	sqip@juse.or.jp
医薬・医療統計	jusemedi@juse.or.jp
マネジメント研修	iso-kensyu@juse.or.jp
通信教育	qctsukyo@juse.or.jp
大阪事務所	juseosaka@juse.or.jp
社内研修	jusekensyu@juse.or.jp
ISO認証	iso-center@juse.or.jp
デミング賞	DemingPrize@juse.or.jp
日本品質奨励賞	tqmcre@juse.or.jp
QCサークル本部	juseqccd@juse.or.jp
その他お問合せ／賛助会員入会・特典	jusepr@juse.or.jp



<https://juse.or.jp>

日科技連

検索

■本部：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル 4階

TEL：03-5990-5284 FAX：03-3344-3022

■東高円寺ビル：〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

TEL：03-5378-1223 FAX：03-5378-1227

■大阪事務所：〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27 JRE 堂島タワー 11階

TEL：06-6341-4627 FAX：06-6341-4615